

・昇天後主日

泉のほとり

今月の詩編 第一〇八編

どうか我らを助け

敵 からお救い下さい

人間の与える救いは

むなししいものです



お言葉をください

わたしたちが教会に来る理由は皆違いますが、家族が病気だから助けてほしい、友達がいじめられて助けてあげたい、誰かを救いたい一心で教会に来る人がいます。

百人隊長はその一人でした。自分の大切な部下が病気で死にそうだったのです。言葉ひとつで百人の部下を動かすことができる人でしたが、死に對しては何もすることができません。その時、主イエスのことを聞いた百人隊長は、主に來て助けてほしいと思ったのです。

そこで、ユダヤ人の長老たちに、主のところに行つてもらふようをお願いしました。長老たちは主イエスのところに行き、熱心にお願ひし、主イエスは長老たちと一緒に家まで來てくださることになりました。

ところが、家までほど遠くないところまで來たとき、今度は百人隊長の友達がやつてきて、來なくていいというのです。百人隊長は、自分が主を家にお連れできるような者ではないこと、主にお会いできるような者ではないと思つたからです。でも、何とかして大切な僕を助けてほしいという思ひは変わりません。

百人隊長は言いました。「ひと言おつしやつてください。そして、わたしの僕をいやしてください」。主はこの言葉に「イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない」と、言はれたのです。

百人隊長には百人の部下がいました。「一行」と言えば百人の部下が行きます。自分が言つたことはその通りになります。それなら、主イエスがひと言おつしやつたら、必ずその通りになると思つたのです。主イエスの言葉は神さまの言葉です。主がひと言おつしやつたら、荒れ狂う嵐の潮も靜かになります。汚れた霊は出て行きます。

わたしの父が病氣になった時、牧師に來てお祈りしてほしいと思つたことがありました。でも、後で考え直しました。牧師が來てくれるから大丈夫なのではなく、主イエスがいてくだされば大丈夫だと。それから必死の思いで毎週礼拝でみ言葉を聞き、病院に行き、この時はじめて、父と母と三人でお祈りすることができたのです。両親と一緒に祈つたことは、病氣が治るよりも嬉しいことでした。このために、牧師をはじめ教会中の人たちがわたしたち家族のために祈つてくれていたことを知りました。

百人隊長に百人の部下がいたように、主イエスにも手となり足となる仲間がいます。それはわたしたちです。主がひと言おつしやつると、教会の仲間たちが祈り始めます。祈りは目に見えませんが、何よりも確かな力です。

わたしたちは皆、とても主に頼むことのできるような者ではありません。百人隊長は主にお会いしていません。ただひと言おつしやつて、大切な僕を助けてほしいと願つただけです。でも、それだけでいいのです。主が働いてくださいます。

トレレーニング

そこで、わたしの息子よ。キリスト・イエスの内にある恵みによつて、今、強くありなさい。

テモテへの手紙② 一章一五節

わたしたちは弱いと

常にことさらに言うわたしたちを

お赦しください。

それはわたしたちを楽にし、

怠惰にもして、

あなたを素通りして生きるようにと

わたしたちを誘惑するのです。

あなたは確かに、

わたしたちを通り過ぎて

生きようなどとほされません。

さもなければわたしたちは

失われてしまうことになるでしょう。

あなたの恵みに向かって

わたしたちを聞いてください。

あなたのみ言葉に向かって

わたしたちを聞いてください。

あなたの御力に向かって

わたしたちを聞いてください。

神がその言葉で我々から求めておられること、まさにそのことのために、神はその霊の保証を与え、我々が与えられた恵みによつて強くなれるようにする。

第一に、恵みは独りキリストから来る。第二に、それはキリスト者にとつてなくなることはないであろう。

カルヴァン

R・ボレン著 「祈る」より

輪原博行氏の訳による

今日のお知らせ

○第一礼拝後、ロビーでのコーヒーマーシェ、同舎一階のリズム室での「ぶどうの会」が行われます。それぞれ覚えてご参加下さい。

○第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○午後一時半から、ハイデルベルク信仰問答を学ぶ会をします。今日は、第二六主日、問六九く七一です。

○次週九日はペンテコステ（聖霊降臨日）です。聖霊がこの世に来てくださり、教会が誕生したことを祝って礼拝をします。朝一〇時からの一回礼拝です。

○六月・七日（月）午後一時から、説教塾主催の公開講演会が礼拝堂で行われます。新改訳聖書二〇七と、協会共同訳聖書の翻訳者に、それぞれの聖書の特色について話を聞きます。参加希望者は、牧師までお申し出ください。

○八月・日から五日まで行われる姉妹教会のコイノニアキャンプのために、献金をお願いします。事務所のカウンターに献金袋が置いてあります。

○二〇一九年度の教会員名簿を一族に一部ずつ配布しました。なお、追加で欲しい方は事務所までお申し出下さい。

○七月・二日・十三日にかけて奥多摩バイブルシャレーにて一泊の礼拝研修会宿を企画しています。礼拝について学びたい方はどなたでも参加できますので、六月九日までに礼拝班委員までお申し出ください。

○十月十四日に行われる第七 二回バザーの献品の受付を開始しました。ご協力をお願い致します。

四国だより

三月の教会報告として新しく教会に導入されたものは「執事」の研修会を七回した後、四月にその任命式をという事でした。私達は小さな群れだったのでリーダーとして奉仕される方々をそれぞれの部の長として役目を果たしていただいております。教会学校部長、礼拝部長、音楽部長、伝道部長、婦人部長、各部長には副部長も。この事も主に祈りつつ、お導きを切望しておりました。

すると昨年、高砂教会にご招待をいただき、六日間を親しみを込めた研修会に導かれ、その間始とマンツーマンの様な学びの中で「執事」についての奥深い学びをいただきました。長い年月をかけて、主に願い求め続けてきた答えが、ここにあると確信いたしました。感動のあまり沢山質問しましたが、その全てに「アーメン」と感謝致しました。四国にもどり、教会員の皆さまにお伝えしますと大変喜ばれ異口同音に感謝し「日から鱗」が落ちた様な嬉しい衝撃ですと主に感謝し、主を喜び賛えました。

四月七日の任命式をめざして研修会は進みました。長い間の祈りの答えをまさか兵庫県の教会へ招かれた六日間の中でいただくとは夢にも思わない事でした。こうして主からの「アメイジング・グレイス」に導かれた幸いな主のお守りと共に御恵み溢れる月となりました。

深い感謝をこめて、ご報告申し上げます。

シオンフルゴスベルチャーチ

田端良恵

聖書の会

6月5日(水)

● 朝の聖書の会(10時)

「あなたを休ませる方」

マルコ2章23節〜28節

菊池 美穂子 副牧師

● 聖書の夕べ(19時)

「今がその時である」

ヨハネ5章19節〜30節

黄 允湜 副牧師

次週礼拝

● ベンテコステ礼拝(午前10時)

讃美歌 181番 180番

説教 「若者は幻を、老人は夢を」

聖書 使徒2章14〜21節

説教者 古村和雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 127番

讃21 409番

説教 「すべて守るように」

聖書 マタイ28章16節～20節(新約P60)

司式 宮間 彰広 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄 允湜 副牧師

前奏曲「メヌエット」 J.S.バッハ

○讃21 127番

1. み^{こころ}を^あふれる 主^をほめたたえよ
み^{わざ}を^われず 賛^美を^ささげよ
主^に求^める時 主^は答^えられる 恩^めをもつて
2. 求^める人^{には} 主^は耳^を傾^け
畏^れる人^{には} み^守り^を写^しえる
主^を憐^れむ人^は 苦^難の^中にも 喜^びを^歌う
3. 味^わい^見つめよ 主^の深^い恩^み
とこしえの代^{まで} 変^わらぬ^憐れ^み
みもとに身^を寄^せ 畏^れる人^{には}
欠^けるもの^はない アーメン

○サクソフォンによる讃美
「キリストにはかえられません」

○讃21 409番

1. すくいの道^を 開^{いた}イエスを
いしずえとして はじめられ
すくいのわざを 受^けついできた
主^の教会^は ただひとつ
2. 時代^はうつり 風^土はかわり
主^にある民^は 分^かれても
みことばをのべ ともにパンをさく
主^の教会^は ただひとつ
3. おわりのときが せまるにつれて
世^のなみかぜは さわいでも
み^国をもとめ 主^を待^ちのぞむ
主^の教会^は ただひとつ アーメン

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 158番 502番

詩篇 第108編(旧約P949)

説教 「死は運命ではない」

聖書 ローマ5章12節～14節(新約P280)

司式 宮間 彰広 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「自らの栄光を父なる

神に求めるキリストの威厳

O. Martin

○讃美歌 158番

○サクソフォンによる讃美
「キリストにはかえられません」

○聖歌隊による讃美
「全能なる永遠の主よ」 B.J.リーナ

全能なる永遠の主よ

われらのよわきをかえりみ

あやうぎと災いより み手をもて 救い給え

み名によりて アーメン

○讃美歌 502番

聖餐曲「今ぞ喜べ愛するキリスト者」 J.P. スチュワート

後奏曲「ソルティ」 E.ググー

聖餐曲「メヌエット」 F.シューベルト

後奏曲「ソルティ」 E.ググー

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。